

五年 事実と考えを区別して、 活動を報告する文章を書こう 「次への一歩―活動報告書」	単元	年組番	問
氏名			

活動報告書を書く

計画したことと実際に活動したことを、事実にもとづいて、読む人に分かりやすく報告する文章のことを活動報告書と言います。活動報告書を書くことで、活動のよかったところや改めたいところを確かめ、今後の活動に生かすことができます。

活動報告書は、読み手に活動の内容やそれに対する考えが正確に伝わるように、事実と考えを区別して書きます。自分たちの活動や考えが分かりやすく伝わるように、小見出しを立てたり、段落を分けたりします。

活動報告書の構成

〇〇活動報告書

名前

活動計画

- 活動する前に決めた計画を書く。

活動内容 事実を書く

- 活動した内容を読み手に分かりやすいように書く。
- したこと・工夫したこと・よかったこと失敗したことなどを書く。
 - ―をした。
 - ―があった。 など
- まとまりごとに小見出しを付けて書く。

活動して考えたこと

- よかったこと その理由
- 反省したこと その理由
改善点

今後の活動について

- 今後活動するうえで気を付けておきたいことやアドバイスを書く。

活動報告書は、できたこととできなかったことをはっきりさせ、その理由を振り返ることで、次の活動に役立てることが出来ます。係活動や委員会活動、行事の後などに書いて記録に残しておく、下級生の参考にもなりますね。



単元	年組番	問
五年 事実と考えを区別して、 活動を報告する文章を書こう 「次への一歩―活動報告書」	氏名	

1 教科書90～91ページを読んで答えましょう。

(1) 「特集記事のための取材」をした際、計画通りにいかなかったことがあります。それはどんなことでしょうか。理由も書きましょう。

理由	
----	--

(2) 「活動して考えたこと」には、反省点とその理由、改善点が書かれています。時間がかかった理由とその改善点を書きましょう。

理由	
改善点	

(3) 次の文は、長すぎて読みにくい文になっています。文を二つに分けて、分かりやすい文章になおしましょう。

<p>運動会のスローガンを決めるために、代表委員会を開いて話し合い、その時に各クラスから出された言葉を組み合わせ、みんなのやる気が出るようなものを作った。</p>	
---	--

--	--

集会委員会活動報告書

活動計画
 4月 一年生を迎える会
 6月 よろしく集会

活動内容
一年生を迎える会（4月）
 はじめにクイズを出すグループを作った。出題者2人、答えを出す人3人ずつ、6グループ、全体の司会者を2人決めた。それから、それぞれで自分の台詞を考えた。みんなが楽しくなるように、振り付けも取り入れて練習した。初めははずかしがって大きな声が出せなかったが、練習を重ねて大きな声が出せるようになった。その結果、本番ではみんなに楽しんでもらうことができた。

よろしく集会（6月）

活動して考えたこと

今後の活動

集会委員会活動報告書 **構成メモ**

活動計画
 4月 一年生を迎える会
 6月 よろしく集会

活動報告
一年生を迎える会（4月）
 クイズづくり 役割分担
 練習をした
 大きな声を出せなくて注意された
 練習して、盛り上がる工夫をした
 みんなが楽しんでもらえた

よろしく集会（6月）
 みんなが楽しめるプログラム決め
 低学年でもわかりやすい司会の台本作り
 ゲームが早く終わったので新しいルール
 を考えた

活動して考えたこと
 反省点…大きな声を出せなかった
 楽しませるためには大きな声が必要
 良かった点…余った時間を工夫した

今後の活動
 全校児童が楽しめる計画を立てる
 その場の状況に合わせて活動する

五年	単元	
氏名		年組番
「次への一歩―活動報告する文章を書く―」 「活動と考えを区別して、 活動を報告する文章を書く―」		問

- 1 上の文章は集会委員会の活動報告書の構成メモと本文です。よく読んで下の問いに答えましょう。
- (1) 構成メモをもとに「よろしく集会」の活動報告を書き込みましょう。
 - (2) 構成メモをもとに「活動して考えたこと」を書き込みましょう。
 - (3) 構成メモをもとに「今後の活動」を書き込みましょう。